

任務を構成する事業評価

No.	33	担当課	消防予防課
-----	----	-----	-------

1.任務目的

任務目的	火災の原因及びその損害を明らかにし、火災予防対策及び警防対策に必要な基礎資料を得て、類似火災の発生を予防する
------	--

2.任務概要

任務概要	火災の原因及びその損害を明らかにし、火災予防対策及び警防対策に必要な基礎資料を得て類似火災の発生を予防する。
任務の総括	市内で発生した火災の原因、経過、被害の程度を調査し、国、県、市、関係機関に報告するとともに、類似火災の発生を未然に防ぐため、市民に注意喚起する。

3.任務目的を構成する事業

事業名(中分類)	火災原因調査	予算事業番号 (予算事業名)	9.1.1.109033(予防事業費)
事業(中分類)概要	<ul style="list-style-type: none"> 発生原因の特定と火災に至った経緯及び火災による損害を調査し、国、県、市、関係機関へ報告する。 各種媒体を利用して市民へ注意喚起する。 		
取組内容・結果等(D)	<ul style="list-style-type: none"> 2019年に市内で発生した火災(16件)を調査し、火災調査報告書を作成するとともに、国、県、市、関係機関に報告した。 火災予防週間に、同報無線、茶こちゃんメールなどを活用して火災予防の注意喚起をした。 		
課題・問題点等(C)	<ul style="list-style-type: none"> 精度が高い火災調査報告書を作成するために、火災調査技術の向上を図る必要がある。 類似火災の未然防止や被害軽減のために、幅広く火災予防を広報する必要がある。 		
今後の方向性(A)	<ul style="list-style-type: none"> 職員の火災調査技術を高める研修会や教育訓練に積極的に参加するとともに、他消防本部や捜査機関、鑑定機関と連携を密にして、精度の高い火災調査報告書を作成する。 特殊火災や社会的影響の大きな火災が報道された場合には、速やかに注意喚起を促して、類似火災の発生を未然防止する。 		